

人社系副専攻プログラム SDGs セミナー vol. 8 を実施いたしました

九州大学人社系協働研究・教育コモンズが主催します SDGs セミナー vol. 8 を、2025 年 7 月 18 日（金曜日）に開催いたしました。本セミナーでは、GX 推進機構・上級研究員、博士（経済学）の天達泰章様に「我が国の GX 推進の考え方～GX 価値向上策を考えよう～」というタイトルでご講演をいただきました。

本セミナーには経済学部や法学部などの人文社会学系の学部に加えて、地球社会統合学府など幅広い部局から 33 名の参加登録がありました。参加学生は GX 推進機構が目指す「2050 年までの脱炭素化」と「日本の産業競争力強化・経済成長」の両立の重要性について理解を深めるとともに、その具体的な取り組みについて興味深く講演を聞いていました。また「環境にやさしい製品」を消費者に選択してもらうために、どのような訴求方法が効果的であるかについてグループワークを行い、お互いのアイディアの発表を通じて意見交換を楽しんでいる様子でした。



写真①：GX 推進機構 天達様による御講演



写真②：楽しそうにグループワークに取り組む参加学生



写真③：グループワークの内容を報告する参加学生

■セミナー参加学生からの感想

- 詳しく知らなかった「GX」について学ぶことができ、参加して良かったと思いました。現場で働いている方からお話を伺えることは中々ないので、貴重な経験になりました。日本では水素のコストが高いという話がありましたが、欧米と比べてどうしてこんなに高いのか調べたいと思いました。
- GX 推進について、「GX」という単語自体は聞いたことがあったものの、詳しい政策の内容までは理解できていなかったが、セミナーを通して、GX に関連する現状や、なぜこの分野に膨大な予算を割く必要があるのかを理解できた。
- 「GX」についてあまり知らなかったため、「水素」がキーワードであり、日本政府も動きを起こしていることを知ることができ、理解が深まったから。データを見ながら日本の現状や今後、課題などを知り、にほんが今後どういった動きをしたらいいのかを考えることができた。
- GX に関して名前は知っていたが、どのように推進しようとしているかについては知らなかった。具体的な数値やグラフを用いながら、どのような課題を持っており、どんな政策があるかを知れたことが良かった。自分の新たな知見を広げることができた点で、満足度が高かった。
- GX 推進に関する広範な知識を得ることができたから。特に、SSBJ 基準は、適用義務化に伴って、とても多くの企業が当事者意識を持つことになると思うので、周知や導入コストでの支援などが必要だなと感じました。
- 本講義を通じて、日本における GX 推進の取り組みについて知ることができた。特にペロブスカイト太陽電池の強みや、普及させるために政府が積極的に支援をしているということが印象に残った。環境に関するニュースにうとく、日本が実際にどのようなことを考え戦略を立てているかについて、理解を深めることができました。
- 一公務に従事していた方のお話を聞く機会がなかなかない中で、官公庁がどのような意思決定、トレンドを設定しているかを知ることができ、とても面白かったです。
- GX についての理解を深めることができたし、短い時間だったが、どのチームも面白い案が出ていて楽しい時間でした。

九州大学
 KYUSHU UNIVERSITY

九州大学 人社系副専攻プログラム

SDGs vol.8 セミナー

持続可能な社会に向けた現場の取り組みを学ぼう!

本セミナーでは、持続可能な社会に向けた活動に取り組む企業担当者にご講演いただき、人文社会科学の多様な視点から社会課題を考える必要性について学ぶセミナーです。vol.8 は、Green Transformation (GX) を通じて企業価値向上を推進するGX推進機構の挑戦を紹介します。

企業担当者や他学部の学生とSDGsについて学び合い、交流を深める機会でもあります。是非ご参加ください。

九州大学
 人社系協働研究・教育コモンズ

我が国のGX推進の考え方 ～GX価値向上策を考えよう～



天達 泰章

あまたつ やすあき
 経済学博士 GX推進機構上級研究員



GX (Green Transformation) は、2050年までの脱炭素化(カーボンニュートラル)と、我が国の産業競争力強化・経済成長の同時実現を目指すものです。我が国のGX推進の考え方を経済学的に説明するとともに、最近のGX産業とGX政策の動向を説明します。その上で、GX産業によって創出される製品(GX製品)が脱炭素のコストによって既存の製品(非GX製品)よりも割高となることを踏まえて、GX価値を国民に受け入れてもらう施策を皆さんで考案しましょう。例えば、環境配慮を掲げているアウトドアブランドの「パタゴニア」の製品は、価格が相対的に高いものの、人気があります。

日時	会場	参加申込
2025 7月18日(金) 14:50-16:20 開場 14:30 対面開催 約90分	九州大学伊都キャンパス イーストゾーン E-112 講義室 定員▶ 100名 対象▶ 九州大学の 学部生・学府生を対象	事前参加登録のお願い 右記二次元コードの リンク先申込フォームを ご利用ください。 登録締切/7月16日(水) https://forms.office.com/r/xP2K5Yi20T

〔主催/お問合わせ〕九州大学 人社系協働研究・教育コモンズ 事務局 enquiry-commons@cmns.kyushu-u.ac.jp

参考資料：人社系副専攻プログラム SDGs セミナー Vol.8 ポスター